

## マリアアザミエキス由来成分シリビンの皮膚老化防止作用

株式会社ファンケル	宮田 智
財団法人木原記念横浜生命科学振興財団	安田 知永
キリンビール株式会社	水谷 悟
横浜市立大学木原生物学研究所	宮崎 香

ビタミンAの1種であるレチノールは、しわの抑制に効果があることから広く化粧品に用いられている。しかし、効果が高い反面皮膚刺激性が強いことから、敏感肌の人には使用できない。そこで、レチノールに代わる皮膚に対して安全で効果の高い皮膚老化防止素材の探索を行った。その結果、マリアアザミエキス由来成分シリビンが、コラーゲン産生促進作用、表皮基底細胞活性化作用、基底膜強化作用などのレチノール様作用を有しながら、皮膚に対して安全であることを明らかにした。

シリビンをより皮膚の奥まで浸透させるために、生体膜に親和性の高い大豆レシチンを結合させたシリビンフィトソームを開発した。シリビンをフィトソーム化することにより、皮膚浸透性が約4倍高まった。

40～60歳の女性15人を対象に、シリビンフィトソーム配合化粧品とレチノール配合化粧品を顔の右半分または左半分に4ヶ月間使用し、しわの改善作用を調べた。その結果、下眼瞼のしわに対してレチノールと同等あるいはそれ以上の改善効果が見られた。また、レチノール使用側ではシリビン使用側と比較して皮膚バリア機能を低下させることが明らかになり、レチノールは皮膚刺激性が高いことが示された。

よって、シリビンは皮膚老化防止素材として広く用いられているレチノールよりも皮膚刺激が少なく、しわ改善効果の高い素材であることが明らかになった。

### シリビンフィトソーム化粧品とレチノール化粧品のしわ改善作用の比較

